

新学期が始まり、もうじき1ヶ月になります。新しい学校、クラスに慣れてきましたか？新たな決意をもって、豊浦高校生活をはじめたことと思います。新天地でスタートを切った3人について紹介します。

1人目は、今年順天堂大学医学部に進学した**福岡堅樹（28才）選手**です。2019年のラグビーW杯で活躍した選手です。現役生の時医学部を目指し、受験するも失敗した経験を持ち、筑波大学、パナソニックでラグビー選手として活躍する中で、東京オリンピック後の医学部再受験を公言していました。しかし、オリンピックの延期をうけ、「医大受験に専念する」と公表し、今年春に合格しました。

2人目は柔道女子の**朝比奈沙羅（24才）選手**です。やはり現役生の時医学部に落ちましたが、翌年のリオデジャネイロ五輪を目指していたので東海大学体育学部に進みました。2018年世界選手権78kg超級で金メダル獲得をしています。大学3年で再び医学部受験の勉強をはじめ、「脳まで筋肉の柔道選手に医学部合格なんて・・・」と誹謗中傷を受けましたが、その苦難を乗り越え、2020年獨協大学医学部に合格しています。「医師になりたい」という思いが強かったことや「自分が言ったことはやり通したい、という思いをやる気に変えていった」と述べています。

3人目はこの春豊浦高校を退職された養護教諭の**三浦絢音（20代）先生**です。保健室の先生として皆さんと接してこられました。クラス担任としてより生徒にかかわっていきたくとの思いから退職されました。小学校教員の免許を取るには2年間、特別支援教員免許取得には1年間の計3年間はかかるので、挑戦するのは今しかないと本校をやめられました。春からは大学に入り直されて、教員免許の取得をはじめられました。

3人の共通点は、「本当になりたいもの、目指す職業はなにか」と真剣に考え、行動に移されたことではないでしょうか。

皆さんの中には、進学に際し、「行けるところに行く」「親が言うので、なんとなく」という人がいますが、是非、主体性をもって自分の進みたい道を探し、目標を掲げて歩いていく高校生活にしてほしいです。

### ○令和3年度国公立大学（18名）・私立大学（172名）等の合格について（現役生）

（国公立）山口大学3名、九州工業大学1名、熊本大学1名、宮崎大学1名、琉球大学1名、  
下関市立大学7名、山口県立大学2名、山口東京理科大学3名、北九州市立大学5名

（私立）成蹊大学1名、中央大学1名、駒澤大学1名、東海大学1名、同志社大学1名、  
関西大学1名、関西学院大学1名、近畿大学1名、広島修道大学9名、  
九州産業大学2名、西南学院大学6名、福岡大学18名他（準大学）水産大学校4名  
合格人数や大学名については、5月15日配付予定の『進路の手引き』を参照してください。

### ○スタディーサポートの結果について

新2、3年生は3月中旬に、新1年生は3月末に受験した結果が返ってきました。すでに各自、個人成績表で分析をしていると思います。学力面では、GTZ（学習到達ゾーン）において、まず**B以上を目指してください**。国公立大学合格のためには、B1以上が必要です。C・Dは、偏差値35以下を示していますので、現時点では合格できる私立大学は極めて少なくなります。C・Dの人は今後は気持ちを入れ替えて、できなかったところを潰していきましょう。学習時間面では、**圧倒的に学習時間が少ない**です。まずは、「量」を確保してください。新3年生では、平日1時間未満の人は前回の調査より減少してきていますが、それでも平均1時間30分程度と少ないです。気持ち・生活面では、新3年生は、「部活動と学習の両立ができています」と答えた人が35%に対して、「部活動の影響で思うように学習ができていない」が53%でした。また、「前年に一番頑張ったと思うこと」は部活動が57%、勉強は20%でした。学習意欲の面では、「成績を伸ばしたい」42%、「伸ばしたいが方法がわからず悩む」が31%となっており、意欲はあるのだが学力結果と結びつかず差が生じています。

毎日の授業をしっかりと集中して受けること、予習・復習を欠かさないことなど「**凡事徹底**」で取り組んでいきましょう。

### ○中間考査発表 5月7日（金）

5月14日（金）からはじまる中間考査まで1週間となりました。1年生においては、本校はじめての定期考査です。予約奨学金を希望する人にとっては、3年生で行う日本学生支援機構の予約奨学生第一種（無利息）では、評定平均値が3.5（2年生までの成績）以上が必要となります（ただし、大学に入ってから希望する人は3年間の最終成績です。）ので大切です。また、3年生にとっては、推薦入試を考えている場合、とても重要な考査となります。準備をしっかりと臨みましょう。

終わりに

異変型ウイルスの感染が全国に広がり、山口県でも増えてきました。部活動や大会開催の有無が急に心配になってきました。今年は、皆さんの活躍する姿を各種大会でしっかり見たいものです。（文責 木嶋）

